

伝統は引き継がれ 新しい文化に すばらしい体育祭でした

雨で順延になった長中伝統の体育祭が、盛大に行われました。朝練習の姿や活動の様子が見られなくなり、寂しくもあり、季節の移り変わりを感じます。

閉会のあいさつでも述べましたが、本校のように、長い時間をかけて実行委員会中心に綿密に計画し、実施する体育祭は仙台市でも多くありません。心をこめて、全員が制作するTシャツ、横断幕の制作、そして縦割りで行うダンスは、本校で勤めた多くの先生方が、新しい赴任先で広めようとしてくれています。しかし、この企画もやはり、合唱と同様、長い年月かけて長町中学校で成熟させてきたものであり、簡単には真似できるものではないのです。皆さんは、中学校に入学して、1年生で初めて体育祭を経験し、それが普通になります。しかし、このように3年生がリーダーとなり、下級生に指導しながら創り上げていくこの活動は、本校独自のものであり、本当にすばらしいと思います。

他校の先生方から「長中は、体育祭で今でもダンスをやっているのですか？」と聞かれる事も多くあります。皆さんの力で、そして3年生のすばらしきリーダーシップで、今年もまたさらにレベルアップした活動を見ることができました。皆さんの創り上げたものは本当に価値があるものです。

参加する態度、そして見学する態度もとても立派だと思います。それぞれの種目に精一杯の力を発揮し、みんなで喜びを共有している姿。皆さんの中には、運動が苦手でなかなか前向きになれない人もいたのではないのでしょうか。それでもみんなで応援して支え合ったり、一つの大きな作品を創り上げていったりする過程は、大きな意味があると感じます。そのようなすばらしい1日に立ち会えたことを本当に幸せに感じました。

3年生の諸君 ありがとう

3年生は、これで大きな行事が終わってしまいましたね。皆さんのリーダーシップや学校全体を動かして、行事を成功させようと頑張る姿、そして最後に、3年生が全員で下級生に引き継いだパフォーマンスは、今後も後輩に引き継がれ、きっと新しいものが生み出されていくと信じます。

これから君達は、少しずつ自分と向き合って、新しい世界に向かっての準備を始めます。すでに目標を持って頑張っている生徒も多いでしょう。どうか焦らず、じっくりと地に足を据えて、一歩ずつ先生方や保護者の方々の力を借りながら、そして迷いながら進んでください。

誰もが通っていかなければならない過程ですが、それぞれ悩みは異なります。あまり背伸びして、無理をすると心のバランスを崩してしまいますし、背伸びしたままでは、足下が見えなくなってしまう。時には立ち止まり、自分を見つめ直して、一つずつハードルを越えていきましょう。

一学期が終わります。これからの3年生の活動を支援していきたいと思います。